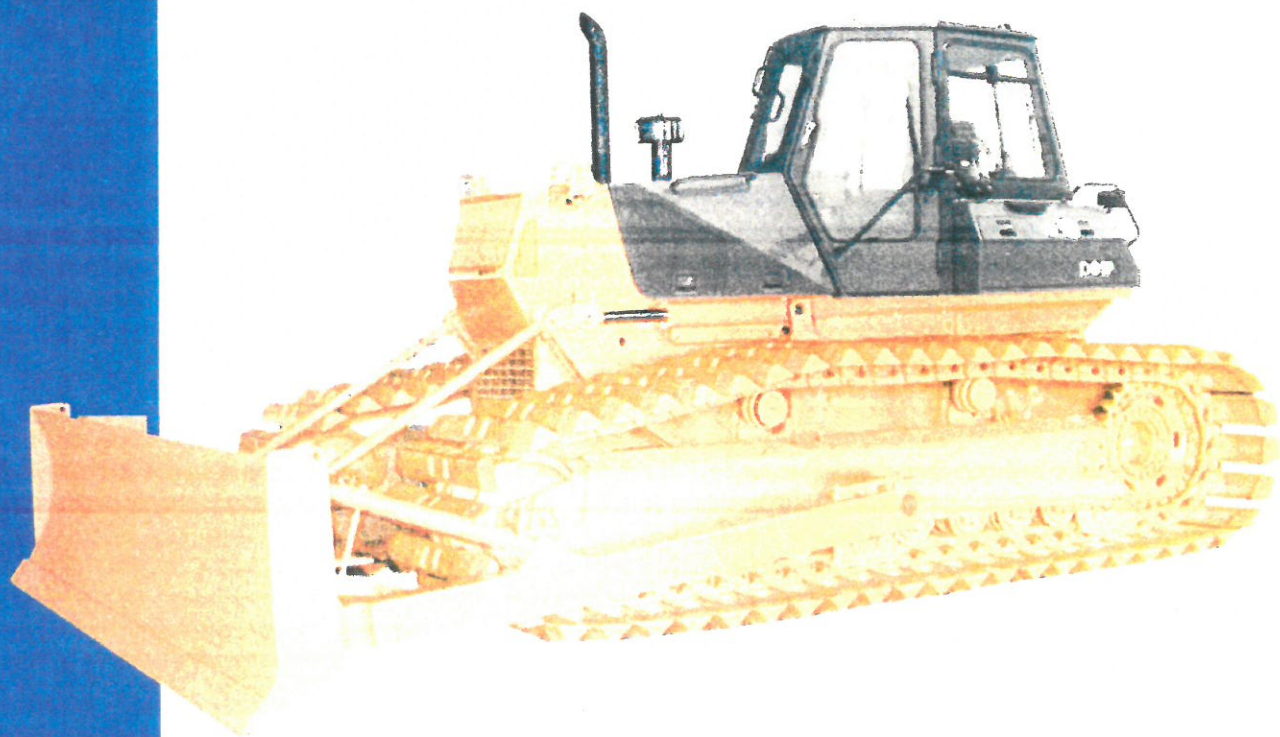




D61P-12

超湿地仕様車

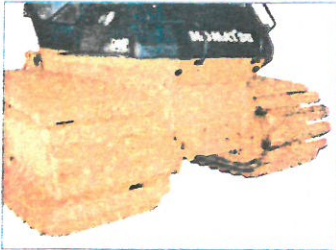


湿地ドーザを越えた軟弱地性能で、圃場整備現場などの表土はぎ・荒仕上げ・仕上げ作業で活躍します。

- D61Pに比べ、シュー幅・接地長・トラックゲージをアップ。軟弱地での作業で威力を発揮します。

KOMATSU

■特長



① 湿地ドーザを越えた軟弱地性能

- D61Pに比べ、シューの幅を860mmから1,100mm、接地長を3,170mmから3,740mmとして、接地圧は0.31kgf/cm²から0.24kgf/cm²を実現。

接地圧を低くすることにより、軟弱地でも安定した作業が可能です。



② より高い生産性

- クラス最大のハイパワーエンジンに加え、土の巻きの良いブレード形状・ワイドなブレードで、表土はぎ作業では高い生産能力を誇ります。

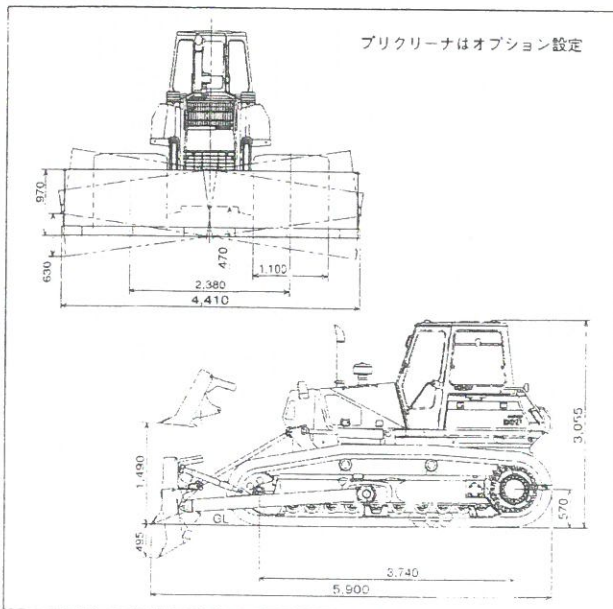


③ 優れた整地性能

- ロングトラック、ワイドなトラックゲージで安定性が良く、整地作業を楽に行えます。

⚠ 本車両は、軟弱地のみの作業に適しており、転石があつたりシューの先端が乗り上げるような障害物がある現場での作業は不可です。

■外形図



■仕様

項目	単位	D61P-12 超湿地仕様車	
機械質量	kg	19,600	
エンジン定格出力	kW[PS]/rpm	112[150]/1,850	
接地圧	kPa[kgf/cm ²]	23.4[0.24]	
全長	mm	5,900	
全高	mm	3,055	
全幅 本体/ブレード	mm	3,480/4,410	
接地長	mm	3,740	
履帯中心距離	mm	2,380	
履帯幅	mm	1,100	
走行速度	1速 前進/後進	km/h	0~3.4/0~4.5
	2速 前進/後進	km/h	0~5.6/0~7.5
	3速 前進/後進	km/h	0~8.8/0~11.1
ブレード	幅×高さ	mm	4,410×970
	最大上昇量/下降量	mm	1,490/495
	チルト量	mm	630

単位は国際単位系によるSI単位表示。[]内の非SI単位は参考値です。

- 機体質量3トン以上の建設機械の運転には「車両系建設機械運転技能講習修了証」の取得が必要です。
- 掲載写真は一部販売車と異なる場合があります。また、カタログ用にポーズをつけて撮影したものであり、安全のために、実際にはこのような状態で機械を放置しないようご注意ください。
- 本機をご利用される際の注意事項の詳細は取扱説明書をご覧ください。
- 本機に改良のため、予告なく仕様変更することがありますのでご了承ください。
- 掲載写真は一部異なる場合があります。

お問い合わせは

KOMATSU

コマツ

営業本部

ワーキングギア事業室 TEL. 03-5561-2736

〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6

URL <http://www.komatsu.co.jp>

(0207040)GS